

30年9月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成30年 9月1日～ 30年9月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は5社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 30/9月 | 10月 | 11月 |
|------|------|--------|--------|-----|
| 入荷動向 | スギ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | ヒノキ | △ 16.7 | △ 16.7 | 0.0 |
| | カラマツ | 0.0 | △ 12.5 | 0.0 |
| | トドマツ | 0.0 | 25.0 | 0.0 |
| 消費動向 | スギ | 12.5 | 0.0 | 0.0 |
| | ヒノキ | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| | カラマツ | 12.5 | 0.0 | 0.0 |
| | トドマツ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 在庫動向 | スギ | 0.0 | 12.5 | 0.0 |
| | ヒノキ | △ 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| | カラマツ | 0.0 | △ 12.5 | 0.0 |
| | トドマツ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

・スギ国産原木の入荷動向は3カ月連続横ばい推移。ヒノキは9月、10月の減少から11月は横ばいに。カラマツは9月の横ばいから10月は減少、11月は再び横ばいに。トドマツは9月の横ばいから10月は増加、11月は再び横ばいに。

・スギ、ヒノキ、カラマツ原木の消費動向は9月の増加から10月、11月は横ばいに。トドマツは3月連続横ばい推移。

・スギ国産原木の在庫動向は9月の減少から10月は増加、11月は再び横ばいに。ヒノキは9月の減少から10月、11月は横ばいに。カラマツは9月の横ばいから10月は減少、11月は再び横ばいに。トドマツは3カ月連続横ばい推移。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | 30/9月 | 10月 | 11月 |
|--------|-------|-----|-----|
| スギ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| ヒノキ | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| カラマツ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 米マツ | — | — | — |
| 北洋カラマツ | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

・合板用原木の購入価格動向はスギ、カラマツ、北洋カラマツ、その他(トドマツ)とも横ばい推移。

・ヒノキはやや強含み。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・7～8月はスギ丸太の入荷が減少したが、9月はほぼ予定通り入荷があった。消費は量・バランスともに大きな変化はない。夏場減らした在庫は入荷像と共に戻っていく見込み。
・仕入動向は横ばいで変化なし。カラマツを主体に消費。
・スギ、ヒノキ丸太とも計画数量から入荷減少。安定供給を願う。消費は計画通り。在庫はスギ、ヒノキが減少し、カラマツは増加。
・9月からヒノキ消費量を増やす。9月～ヒノキ消費増により入荷量も増やしていく。在庫はスギ、ヒノキとも増やしていく。

(原木価格)

・スギ価格は安定している。カラマツは若干値上り傾向は出ているがほぼ横ばい。北洋カラマツは関税アップで実買価格は上がっているものと思われる。
・カラマツ、北洋カラマツともに高値で推移。
・10月から価格変動あるも横ばい。
・9月からヒノキ購入価格を2,000円/m3上げる。

30年9月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 30/9月 | 10月 | 11月 |
|------|----------|-------|------|------|
| 生産動向 | 構造用(9mm) | 16.7 | 16.7 | 16.7 |
| | 〃 (12mm) | 12.5 | 12.5 | 12.5 |
| | 〃 (15mm) | 12.5 | 12.5 | 12.5 |
| | 〃 (24mm) | 12.5 | 12.5 | 12.5 |
| | 〃 (28mm) | 25.0 | 12.5 | 12.5 |
| 出荷動向 | 構造用(9mm) | 16.7 | 16.7 | 16.7 |
| | 〃 (12mm) | 12.5 | 12.5 | 12.5 |
| | 〃 (15mm) | 12.5 | 12.5 | 12.5 |
| | 〃 (24mm) | 12.5 | 12.5 | 12.5 |
| | 〃 (28mm) | 25.0 | 12.5 | 12.5 |
| 在庫動向 | 構造用(9mm) | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 〃 (12mm) | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 〃 (15mm) | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 〃 (24mm) | 12.5 | 12.5 | 0.0 |
| | 〃 (28mm) | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

- ・合板工場の生産、出荷動向は全品目で3カ月連続増加。
- ・在庫動向は9、12、15、28mmは3カ月連続横ばい推移。24mmは9月、10月の増加から11月は横ばいに。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 30/9月 | 10月 | 11月 |
|----------|--|-------|-----|-----|
| 構造用(9mm) | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 〃 (12mm) | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 〃 (15mm) | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 〃 (24mm) | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 〃 (28mm) | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

- ・出荷価格動向は全品目とも3カ月連続横ばい推移。

モニターからのコメント

(構造用合板の荷動き)

- ・生産・出荷動向ともに受注増により9mmが増加した。15mmも増加したが、例年公共事業が始まる時期でもありとも需要が高まると思われる。
- ・少量生産につき横ばいで変化なし。
- ・計画通り生産。出荷は徐々に減少傾向だが、横ばい。在庫は増加傾向で、先月より5%増。
- ・稼働日数による生産となる。先月は猛暑、台風等の影響により荷動きが鈍かったが、気候条件が良くなり着工が進むと出荷が一気に動き出すのではないかと。在庫量は低水準のままで増える状況になく、生産量マイナス販売量の動きで推移する。

(構造用合板の価格)

- ・価格が上昇する局面は考えにくいですが、おおむね横ばいで推移すると思われる。
- ・全品目横ばいで変化なし。
- ・価格は12～28mm全て横ばい。
- ・出荷価格は全品目横ばい。原木価格、他のコスト次第では価格見直しもあり得る。このまま様子見状態。